

## 株主メモ

事業年度  
定時株主総会  
剰余金の配当の基準日

4月1日から翌年3月31日  
6月  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

定時株主総会基準日  
株主名簿管理人  
同事務取扱場所

毎年3月31日  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒171-8508

(郵便物送付/電話照会)  
連絡先

東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)

同取次所  
単元未満株式の買取  
請求及び買増請求

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記株主名簿管理人事  
務取扱場所及び同取次所にて受付けております。  
ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の  
証券会社にお申し出下さい。  
また、買増請求は、3月31日から起算して12営業日前から3月31  
日までの間及び9月30日から起算して12営業日前から9月30日ま  
での間はお取扱いができませんので、ご留意下さい。

公告方法

電子公告  
電子公告掲載 URL <http://www.kissei.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得な  
い事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第1部

●お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求に必要な各用紙、株式の相続手続依  
頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用下さい。

明日の健康を見つめる

 **キッセイ薬品工業株式会社**

# 第61期 事業報告書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)



ジャンダルムと焼岳



この報告書は、  
環境に優しい大豆  
油インキを使用  
して印刷して  
います。



古紙/ルル配合率100%再生紙  
を使用

 **キッセイ薬品工業株式会社**

# 目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト（連結・個別）	P 3~4
営業の概況（連結）	P 5
研究開発の状況	P 6
財務諸表（連結）	P 7~8
財務諸表（個別）／利益処分	P 9~10
製商品の紹介	P 11
トピックス	P 12
株式の状況	P 13
会社の概要	P 14



橘の花

## 「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である橘を冠した橘生化学研究所としてスタートしました。翌年橘生薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。

ここに当社第61期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の営業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

国家財政の逼迫と少子高齢化の進展により、医療保険や年金保険などの社会保障制度の構造改革が進められている中、国内医薬品業界は、医療費抑制策の一層の進展や本年4月に実施されました薬価基準の引き下げの影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。

このような状況下において、当社は創業以来「研究開発なくして製薬企業にあらず」という精神のもと、新薬開発を優先した経営戦略を展開してまいりました。「創業研究開発型企業」としての確固たる地位の構築に向け、現在、中期経営計画「EVOLUTION PLAN」を実行しております。

第61期の業績は、新たに連結対象子会社が1社増加したことにより、連結売上高では増収となりましたものの、医薬品事業におきまして、新製品グルファストやヘルスケア食品などが伸長しました一方で、既存製品や技術料収入の減少により減収となりました。利益面につきましては、仕入商品の売上高の増加に伴い売上原価率が上昇したことや、相次ぐ新製品を育成するための販売費や将来の新薬ラインナップを充実させるための研究開発費を積極的に投入いたしましたことなどにより大幅な減益となりました。

なお、研究開発は順調に進捗しております。昨年9月には口腔乾燥症状改善薬サラジェンを、そして本年5月には大型新薬と期待する前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬ユリーフを新発売いたしました。グルファスト及びサラジェンの効能追加につきましても承認申請中であります。また、これまで当社は主に低分子医薬品を中心に研究開発を行ってまいりましたが、これに加えて、将来の市場拡大が期待されますバイオ医薬品の開発にも取り組んでおります。

当社は本年8月に創業60周年を迎えます。引き続き研究開発と育薬のために経営資源を積極的に投入し、中期経営計画の目的とする「成長フェーズへの転換」の実現に向け邁進してまいります。

株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

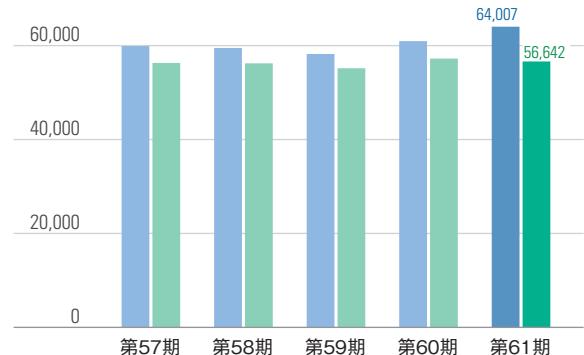


代表取締役社長 神澤陸雄

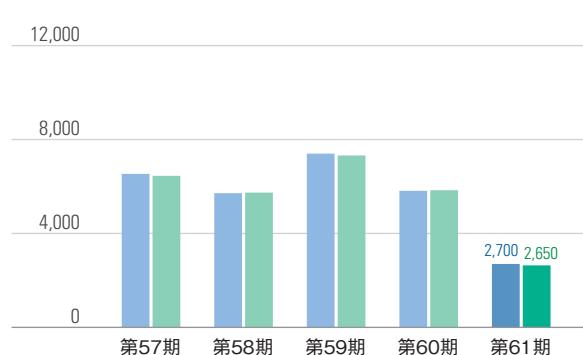
## 業績ハイライト（連結・個別）

■ 連結 ■ 個別

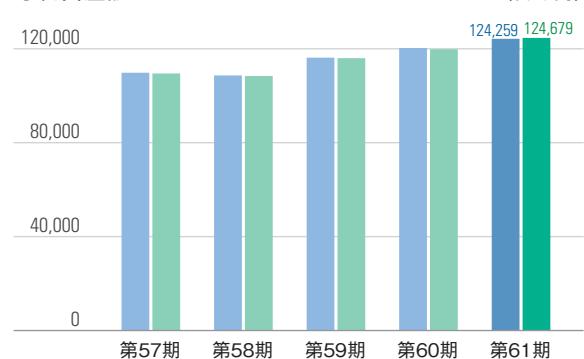
●売上高 (百万円)



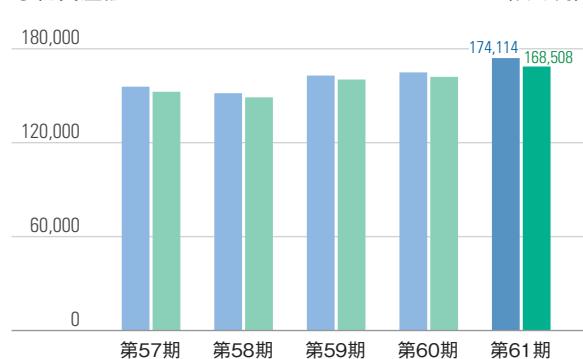
●経常利益 (百万円)



●純資産額 (百万円)



●総資産額 (百万円)



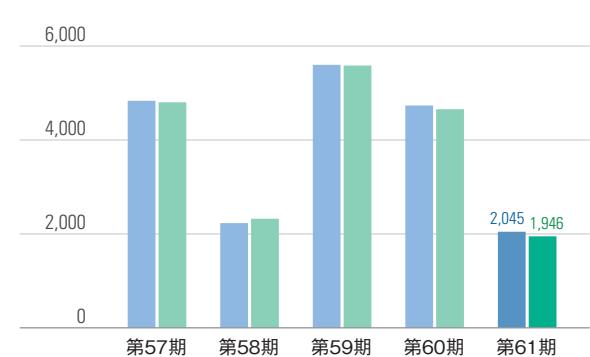
### 連結

	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期
売上高 (百万円)	59,929	59,528	58,225	60,933	64,007
経常利益 (百万円)	6,534	5,711	7,389	5,813	2,700
当期純利益 (百万円)	4,836	2,231	5,599	4,734	2,045
純資産額 (百万円)	109,831	108,635	116,265	120,085	124,259
総資産額 (百万円)	155,740	151,582	162,841	164,943	174,114
1株当たり当期純利益 (円)	84.85	39.36	101.82	86.47	37.31
1株当たり純資産 (円)	1,942.47	1,978.26	2,137.76	2,210.01	2,288.70
株主資本比率 (%)	70.5	71.7	71.4	72.8	71.4
株主資本当期純利益率 (%)	4.4	2.0	5.0	4.0	1.7

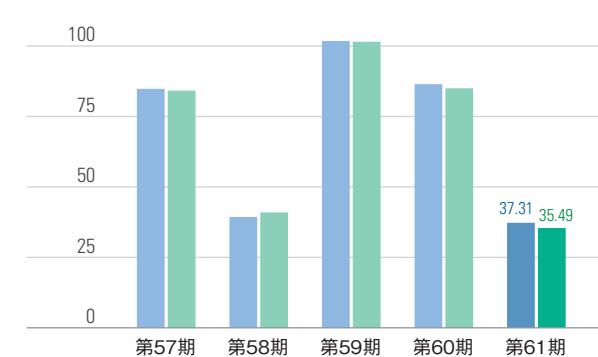
(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。  
2. 1株当たり純資産は、期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。

## 業績ハイライト（連結・個別）

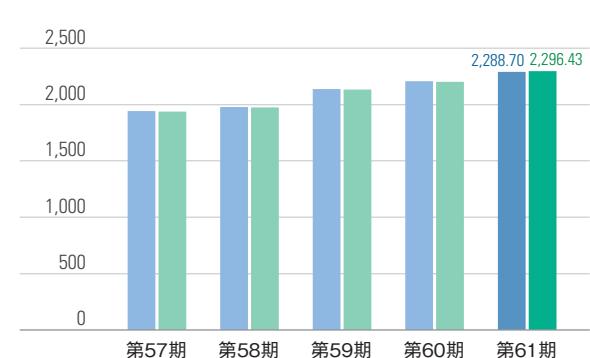
●当期純利益 (百万円)



●1株当たり当期純利益 (円)



●1株当たり純資産 (円)



●株主資本当期純利益率 (ROE) (%)



### 個別

	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期
売上高 (百万円)	56,315	56,240	55,178	57,236	56,642
経常利益 (百万円)	6,454	5,737	7,331	5,836	2,650
当期純利益 (百万円)	4,803	2,322	5,584	4,655	1,946
純資産額 (百万円)	109,516	108,411	116,026	119,841	124,679
総資産額 (百万円)	152,524	148,915	160,348	162,101	168,508
1株当たり当期純利益 (円)	84.26	40.99	101.54	85.00	35.49
1株当たり純資産 (円)	1,936.90	1,974.18	2,133.36	2,205.51	2,296.43
株主資本比率 (%)	71.8	72.8	72.4	73.9	74.0
株主資本当期純利益率 (%)	4.4	2.1	5.0	3.9	1.6
資本金 (百万円)	24,219	24,219	24,219	24,219	24,219
発行済株式総数 (株)	56,795,185	56,795,185	56,795,185	56,795,185	56,795,185
1株当たり配当金 (円)	14	14	17	20	24

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。  
2. 1株当たり純資産は、期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。

## 営業の概況（連結）

### 当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格高騰の影響はあるものの、好調な企業業績を背景とした設備投資の拡大や底堅い個人消費に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、相次ぐ医療費抑制策の進展による影響を受け、引き続き厳しい環境下に推移いたしました。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、景況感には回復傾向が見られるものの、IT投資等の効率化を厳しく問われる業界環境や厳しい価格競争が継続するなど、依然として熾烈な競争環境下にありました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、平成16年5月に新発売いたしました糖尿病治療薬「グルファスト<sup>®</sup>錠」、昨年1月よりユーシービージャパン株式会社より販売移管を受け販売を開始いたしました血圧降下薬「シナロン<sup>®</sup>錠」及び昨年7月に厚生労働省より製造販売承認を取得し9月より新発売いたしました口腔乾燥症状改善薬「サラジェン<sup>®</sup>錠」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。また、ヘルスケア食品につきましても積極的な市場拡大を推進いたしました。

研究開発面では、平成16年6月に承認申請いたしました当社創製品であります前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「シロドシン（一般名）」（第Ⅲ相臨床試験を第一製薬株式会社と共同で実施）の承認取得に向けたフォローを行いました結果、本年1月に厚生労働省より製造販売承認を取得し、本年5月には排尿障害改善薬「ユリーフ<sup>®</sup>カプセル」として、当社と第一製薬株式会社と同一品名にて販売を開始する運びとなりました。このほか、グルファスト、サラジェンの効能追加などの開発を推進いたしました。このうちグルファストの効能追加（ $\alpha$ -グルコシターゼ阻害薬との併用療法）につきましては昨年10月に、サラジェンの効能追加（シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善）につきましては昨年12月に承認申請を行いました。また、昨年12月に日本ケミカルリサーチ株式会社との間で同社が開発を進めておりました腎性貧血治療薬（遺伝子組換えヒトエリスロポエチン、開発番号JR-013）の共同開発及び国内での販売権に関する契約を締結いたしました。同社との間において密接な提携関係を構築することにより、今後はバイオ医薬品の研究・開発・導入の機会を積極的に捉えることが可能となることなどから、本年4月には同社による第三者割当増資に応じる出資を実施しております。更に、創業テーマのライセンスアウトも積極的に進めており、当連結会計年度におきましては、グルファストのエリキシア社（アメリカ）へのライセンスアウト等を実施いたしました。過活動膀胱に伴う頻尿・尿失禁治療薬KUC-7483につきましては、ベーリンガーインゲルハイム社（ドイツ）に導出し開発が進められていましたが、同社では開発化合物を関連化合物であるKTOに変更して非臨床試験を進めております。また、欧州において当社が実施する臨床試験の管理並びに情報収集業務等を行う目的で設置しておりました当社の欧州現地法人であるKISSEI PHARMA EUROPE LTDにつきまして、その業務を当社に集約することとして本年3月末をもってその活動を終了し、現在清算手続中であります。

その他の事業におきましては、グループとしての相乗効果の向上を課題に、事業内容の再編成等に積極的に取り組んでおります。また、これまで非連結子会社でありました株式会社ハシバ920につきまして、当連結会計年度より新たに連結子会社といたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は640億7百万円（前連結会計年度比50%増）となりましたが、医薬品事業における仕入商品の売上高の増加に伴い売上原価が増加し、またグルファスト、シナロン、サラジェンの新発売に伴う医薬情報活動のための諸経費やユリーフの新発売に備えた諸経費などの増加を主に販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は18億7千7百万円（前連結会計年度比66.0%減）、経常利益は27億円（前連結会計年度比53.5%減）、当期純利益は20億4千5百万円（前連結会計年度比56.8%減）となりました。

### 来期の見通し

医薬品業界は、医療費抑制策の進展や本年4月に実施されました薬価改定などの影響を受け、引き続き厳しい環境下にあります。

その他の事業におきましても、依然として厳しい業界環境や価格競争が継続するものと予想されます。

このような情勢の中で当グループは、グループとしての相乗効果が発揮できる経営体質の確立を目指し、中期経営計画に基づき、成長戦略に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、売上高670億円、経常利益33億5千万円、当期純利益21億3千万円を目標に業績の確保に努力いたします。

### 対処すべき課題

平成15年4月より計画期間を5ヵ年とする中期経営計画「EVOLUTION PLAN」を展開しております。当中期経営計画のスローガンは「収益構造の変革」と「成長フェーズへの転換」であり、これを着実に達成することが当面の課題であります。

「収益構造の変革」とは、研究重点領域を絞り、経営資源の適正投入を行うとともに、現在の人員体制を維持し、各種業務の抜本的見直しによる経費節減を図ることです。更に、従来から継続しております他社、あるいは研究機関等との共同開発や共同販売などの戦略的提携について積極的な展開を図ります。

「成長フェーズへの転換」とは、当中期経営計画期間中に、糖尿病治療薬グルファスト、口腔乾燥症状改善薬サラジェン、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬ユリーフの3製品について効能追加を含めた5適応症全ての承認を国内市場で取得し、早期育成を図ることです。このうちグルファスト、サラジェン、ユリーフにつきましては既に承認を取得し、発売いたしましたほか、効能追加につきましても現在承認申請中であります。また、海外医薬品市場におきましては、マイルストーン及びロイヤルティ収入に収益を求めるライセンスアウトを推進し、当社オリジナル製品が少しでも早く海外で発売されることを目指します。

## 研究開発の状況

技術革新と国際化の急激な進展により、研究開発テーマの評価基準と承認審査のハードルは高くなっています。このような状況下において、当社は経営ビジョン「創薬研究開発型企業」を実現するために、創薬研究の基盤強化、最優先テーマの早期承認取得及びR&Dパイプラインの充実強化を推進しております。

（平成18年5月現在・第Ⅱ相以上）

### 国内

開発段階	製品名／一般名	開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用	備考
承認申請中	グルファスト <sup>®</sup> ／ミチグリニド	KAD-1229	創製品／自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善（ $\alpha$ -グルコシターゼ阻害薬との併用療法）	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
	サラジェン <sup>®</sup> ／ピロカルピン	KSS-694	導入品／エム・ジー・アイ・ファーマ（アメリカ）	シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	効能追加
第Ⅱ／Ⅲ相	グルファスト <sup>®</sup> ／ミチグリニド	KAD-1229	創製品／武田薬品共同開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善（ピオグリタゾンとの併用療法）	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
第Ⅱ相		KUC-7483	創製品／自社開発	過活動膀胱	$\beta$ 3受容体刺激作用	

### 海外

開発段階	一般名／開発番号	開発区分／導出先	導出先権利許諾地域／自社開発地域	予想される適応症	主な作用
承認取得済	ミチグリニド	チョンウェ製薬（韓国）	韓国	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
承認申請準備中	ミチグリニド	ヒクマ（ヨルダン）	中東	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅲ相	シロドシン	ワトソン（アメリカ）	アメリカ、カナダ、メキシコ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用
	シロドシン	チョンウェ製薬（韓国）	韓国	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用
	シロドシン	レコルダッチ（イタリア）	欧州、中東、アフリカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用
第Ⅲ相準備中	*1ミチグリニド	自社開発	中国	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	*1シロドシン	オリエントユーロ（台湾）	台湾、香港	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅱ相	*1シロドシン	シンモサ（台湾）	台湾、香港	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用
	*2ミチグリニド	エリキシア（アメリカ）	北米、中米、南米	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン	第一製薬（日本）	中国	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用
	VX-702 (KVK-702)	ヴァーテックス（アメリカ）共同開発		関節リウマチ	p38MAPキナーゼ阻害作用
第Ⅱ相	KGT-1251 ／KGT-1681	グラクソ・スミスクライン（イギリス）	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病、肥満	SGLT2阻害作用
	*3KUR-1246	メディシノバ（アメリカ）	日本を除く全世界	切迫早産	$\beta$ 2受容体刺激作用

※1：第Ⅲ相臨床試験からの開発（第Ⅰ相及び第Ⅱ相臨床試験はスキップ）

※2：今後の臨床開発についてはFDAと協議中

※3：メディシノバに技術導出したKUR-1246は第Ⅱ相臨床試験の準備中

# 財務諸表（連結）

## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	前期 (平成17年3月31日現在)	当期 (平成18年3月31日現在)		前期 (平成17年3月31日現在)	当期 (平成18年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	93,743	102,464	流動負債	18,295	29,935
現金及び預金	35,858	37,187	支払手形及び買掛金	8,437	9,193
受取手形及び売掛金	26,151	25,194	短期借入金	2,275	2,664
有価証券	14,583	20,237	1年以内償還予定転換社債	-	9,586
たな卸資産	9,797	12,662	未払法人税等	965	378
繰延税金資産	1,830	1,398	賞与引当金	1,994	1,402
その他	5,526	5,789	返品調整引当金	23	17
貸倒引当金	△ 3	△ 4	売上割戻引当金	649	628
			販売費引当金	237	314
			その他	3,710	5,749
固定資産	71,199	71,650	固定負債	26,470	19,824
有形固定資産	27,794	28,649	転換社債	21,777	12,191
建物及び構築物	11,768	11,876	長期借入金	139	108
土地	12,918	13,402	役員退職慰労引当金	1,295	1,388
建設仮勘定	97	419	退職給付引当金	3,258	3,641
その他	3,010	2,950	繰延税金負債	-	2,493
無形固定資産	3,835	3,593	その他	-	1
投資その他の資産	39,569	39,406	負債合計	44,765	49,760
投資有価証券	34,917	35,795	(少数株主持分)		
長期前払費用	1,319	1,086	少数株主持分	92	94
繰延税金資産	301	256	(資本の部)		
その他	3,140	2,384	資本金	24,219	24,219
貸倒引当金	△ 109	△ 115	資本剰余金	24,111	24,112
資産合計	164,943	174,114	利益剰余金	71,344	71,388
			株式等評価差額金	4,390	8,599
			自己株式	△ 3,980	△ 4,060
			資本合計	120,085	124,259
			負債・少数株主持分及び資本合計	164,943	174,114

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	60,933	64,007
売上原価	23,526	28,282
売上総利益	37,406	35,725
販売費及び一般管理費	31,889	33,848
営業利益	5,516	1,877
営業外収益	672	1,266
受取利息及び配当金	315	386
有価証券評価益	253	679
その他	104	200
営業外費用	375	443
支払利息	203	213
その他	172	229
経常利益	5,813	2,700
特別利益	2,265	1,330
投資有価証券売却益	503	1,330
厚生年金基金代行返上益	1,570	-
訴訟損害賠償金	191	-
特別損失	99	443
固定資産処分損	76	33
投資有価証券評価損	22	3
減損損失	-	258
約定補償金	-	148
税金等調整前当期純利益	7,980	3,587
法人税、住民税及び事業税	2,510	1,419
法人税等調整額	719	119
少数株主利益	14	2
当期純利益	4,734	2,045

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
<b>(資本剰余金の部)</b>		
I 資本剰余金期首残高	24,110	24,111
II 資本剰余金増加高	0	0
自己株式処分差益	0	0
III 資本剰余金期末残高	24,111	24,112
<b>(利益剰余金の部)</b>		
I 利益剰余金期首残高	67,811	71,344
II 利益剰余金増加高	4,734	2,045
当期純利益	4,734	2,045
III 利益剰余金減少高	1,202	2,001
配当金	1,087	1,194
役員賞与	40	35
合併による減少高	74	-
連結範囲の変更に伴う減少高	-	771
IV 利益剰余金期末残高	71,344	71,388

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,563	3,070
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,549	△ 1,570
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,225	△ 1,490
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 12	32
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,223	42
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	50,171	48,983
VII. 合併に伴う現金及び現金同等物の受入高	35	-
VIII. 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の受入高	-	621
IX. 現金及び現金同等物の期末残高	48,983	49,647

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 財務諸表（個別）

### ●貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	前期 (平成17年3月31日現在)	当期 (平成18年3月31日現在)		前期 (平成17年3月31日現在)	当期 (平成18年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	92,188	97,335	流動負債	16,152	24,404
現金及び預金	35,447	35,003	支払手形	92	-
特定金銭信託	3,091	3,008	買掛金	7,367	6,502
受取手形	360	135	短期借入金	1,150	1,150
売掛金	25,025	23,920	1年以内返済予定長期借入金	3	2
有価証券	14,583	20,237	1年以内償還予定転換社債	-	9,586
商品・製品	5,455	5,406	未払金	3,628	4,262
半製品・仕掛品	1,591	1,854	未払法人税等	917	345
原材料・貯蔵品	2,669	3,756	賞与引当金	1,744	1,196
繰延税金資産	1,698	1,277	返品調整引当金	23	17
その他	2,265	2,734	売上割戻引当金	649	628
固定資産	69,913	71,172	販売費引当金	237	314
有形固定資産	26,903	27,689	その他の	336	398
建物・構築物	11,761	11,603	固定負債	26,107	19,423
機械・装置	1,131	1,175	転換社債	21,777	12,191
車両・運搬具	13	13	長期借入金	30	21
工具・器具・備品	1,513	1,382	役員退職慰勞引当金	1,242	1,328
土地	12,385	12,450	退職給付引当金	3,058	3,395
建設仮勘定	97	1,063	繰延税金負債	-	2,487
無形固定資産	3,850	3,712	負債合計	42,260	43,828
ソフトウェア	2,501	2,581	<b>(資本の部)</b>		
その他	1,348	1,130	資本金	24,219	24,219
投資その他の資産	39,159	39,771	資本剰余金	24,111	24,112
投資有価証券	33,815	34,718	資本準備金	24,110	24,110
関係会社株式	1,222	1,128	その他資本剰余金	1	2
長期貸付金	1,485	1,386	自己株式処分差益	1	2
長期前払費用	1,313	1,080	利益剰余金	71,100	71,817
敷金・保証金	404	409	利益準備金	940	940
繰延税金資産	62	-	任意積立金	64,000	67,500
その他	966	1,164	別途積立金	64,000	67,500
貸倒引当金	△ 109	△ 115	当期末処分利益	6,159	3,376
資産合計	162,101	168,508	その他有価証券評価差額金	4,389	8,590
			自己株式	△ 3,980	△ 4,060
			資本合計	119,841	124,679
			負債・資本合計	162,101	168,508

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 利益処分

### ●損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	前期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	当期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	57,236	56,642
売上原価	20,759	22,142
返品調整引当金戻入額	4	6
売上総利益	36,481	34,506
販売費及び一般管理費	30,956	32,716
営業利益	5,524	1,790
営業外収益	773	1,366
受取利息及び配当金	307	392
有価証券評価益	253	679
その他	212	293
営業外費用	461	506
支払利息	185	185
その他	275	321
経常利益	5,836	2,650
特別利益	2,133	1,330
投資有価証券売却益	503	1,330
厚生年金基金代行返上益	1,437	-
訴訟損害賠償金	191	-
特別損失	95	539
固定資産処分損	72	36
投資有価証券評価損	22	3
減損損失	-	258
約定補償金	-	148
投資損失引当金繰入額	-	93
税引前当期純利益	7,874	3,440
法人税、住民税及び事業税	2,460	1,370
法人税等調整額	759	123
当期純利益	4,655	1,946
前期繰越利益	2,048	2,081
中間配当額	543	651
当期末処分利益	6,159	3,376

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：円)

科目	金額
当期末処分利益	3,376,497,897
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき12円)	651,411,480
役員賞与金 (取締役賞与金) (監査役賞与金)	19,572,000 (17,682,000) (1,890,000)
別途積立金	600,000,000
次期繰越利益	2,105,514,417

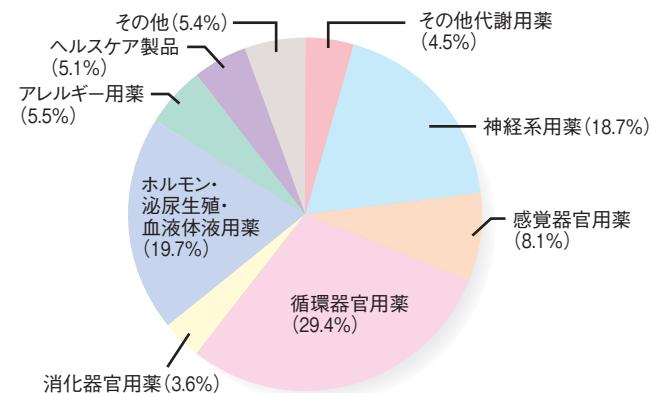
(注) 1. 平成17年12月12日に651,659,940円（1株につき12円）の中間配当を実施いたしました。  
2. 利益配当金は自己株式2,510,895株に対する金額を除いております。

## 製商品の紹介

### ●主な医療用医薬品

<b>その他代謝用薬</b>	
グルファスト錠	糖尿病治療薬
<b>神経系用薬</b>	
カバサル錠	パーキンソン病治療薬
<b>感覚器官用薬</b>	
リザベン点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬
リズモンTG点眼液	緑内障・高眼圧症治療薬
<b>循環器官用薬</b>	
ベザトールSR錠	高脂血症治療薬
キサンボン注	脳循環改善薬
シナロング錠	血圧降下薬
<b>消化器官用薬</b>	
サラジェン錠	口腔乾燥症状改善薬
ガスコン	消化管内ガス駆除薬
アラント	胃・十二指腸潰瘍治療薬
<b>ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬</b>	
ウテメリン	切迫流・早産治療薬
フラグミン静注	血液凝固阻止薬
ゾラデックス1.8mgデポ	子宮内膜症治療薬
エストラダームM	女性ホルモン剤
フルスタン錠	活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤
<b>アレルギー用薬</b>	
リザベン	アレルギー性疾患治療薬
ドメナン錠	気管支喘息治療薬

### ●売上高比率 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)



### ●主なヘルスケア食品

#### 高齢者・介護補助食品

スルーキング・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーソフトS・・・液状食品やキザミ食に、温度に関係なくお好みの自然なとろみがつけられるとろみ調整食品です。においも味もなく、食品の風味を損ないません。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。うなぎ、ほたて風味、かに風味、いわし、いとより鯛、ポークしょうが焼きがあります。また、たんぱく質を強化した、ぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。

#### エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できます。味の種類はマスカット、オレンジ、ウメ、カリン、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召し上がれるクッキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

#### たんぱく質、リン、カリウム調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質を抑えたおいしいパック入りごはんです。温めてそのままお召し上がりいただけます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを低減した、厚生労働省許可特別用途食品（低たんぱく質食品、腎不全患者用）です。

## トピックス

### ヘルスケア製品



当社では、高齢者や要介護者の方々、食事療法や食事制限が必要とされる患者さん向けに特殊食品の開発、販売を行っております。平成17年10月に新発売しました「ゆめごはん1/25トレー」をご紹介いたします。

「ゆめごはん」は慢性腎不全患者さんなど、たんぱく質の摂取制限が必要な方の食事療法に、日本国内で最もご利用いただいております。そのシリーズに取扱いのわずらわしさを解消するためのトレー入りを新発売いたしました。市販の低たんぱくごはんの中ではたんぱく質含量が最も少なく、独自の二度蒸し製法を取り入れることでトレー入りごはん特有のにおいを極力抑え、ごはん本来のおいしさを実現いたしました。

お問い合わせ先：ヘルスケア事業部

通信販売専用フリーダイヤル：0120-753-666

### 主な設備投資：ヘルスケア事業センター増築

平成17年3月に万有製薬株式会社より承継し、販売を開始いたしました「ゆめシリーズ」・「マクトンシリーズ」の物流拠点はこれまで外部委託してまいりました。そこでこれら製品群をヘルスケア事業センターに集約し、物流拠点を統合することにより一括在庫管理をするために同センターを増築し、本年3月に竣工いたしました。

これにより床面積は従来の1.5倍の1,000坪に、取扱物量は1.7倍となりました。また、自社通販作業室を設置するなど、今まで以上に施設ルート、在宅ルートへの出荷業務が効率的に行えるように設計されています。



## 株式の状況

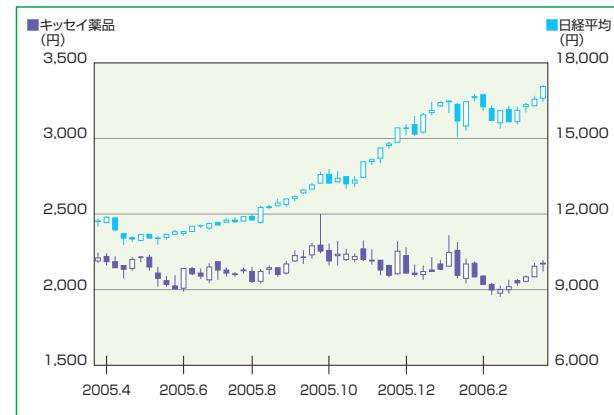
会社が発行する株式の総数 227,000,000株  
 発行済株式の総数 56,795,185株  
 株主数 3,828名 (前期末比 321名増)

### ●大株主

株主名	持株数	出資比率
神澤邦雄	3,701千株	6.5%
有限会社カンザワ	3,178	5.6
第一生命保険相互会社	2,718	4.8
株式会社八十二銀行	2,670	4.7
株式会社みずほ銀行	2,670	4.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,533	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,041	3.6
鍋林株式会社	1,219	2.2
株式会社長野銀行	1,126	2.0
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	961	1.7

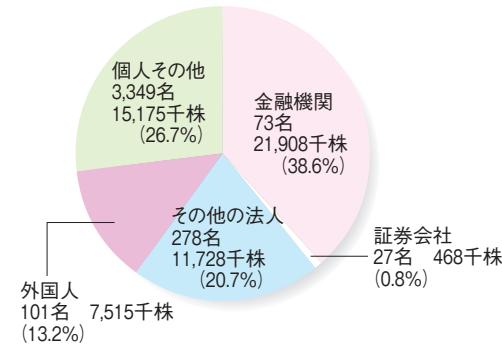
(注) 当社は自己株式2,510,895株を保有しております。

### ●株価チャート

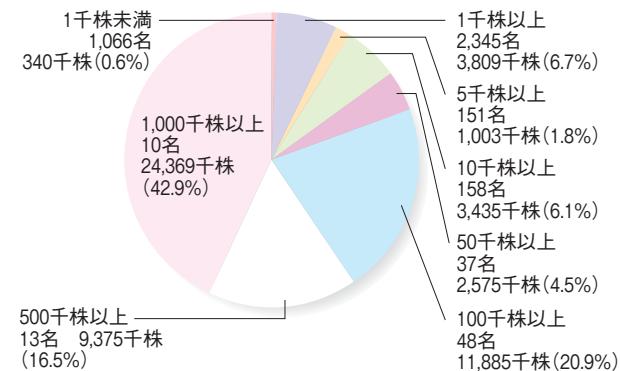


(平成18年3月31日現在)

### ●所有者別分布



### ●所有株数別分布



## 会社の概要

(平成18年3月31日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**  
 英文名称 **KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.**  
 設立 昭和21年8月9日  
 資本金 24,219,657,478円  
 主要事業内容 医療用医薬品の製造販売  
 本社 長野県松本市芳野19番48号  
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710  
 東京本社 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号  
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022  
 東京本社(小石川) 東京都文京区小石川三丁目1番3号  
 支店 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、東京支店、横浜支店、松本支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、高松支店、広島支店、福岡支店  
 (注) 支店の下に27営業所を設置しております。  
 工場 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)  
 研究所 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(安曇野市)  
 ヘルスケア事業センター(塩尻市)  
 従業員数 1,482名(平均年齢36.3歳)

役員  
 代表取締役社長 神澤邦雄  
 代表取締役副社長 神澤陸雄  
 取締役副社長 岩垂正矩  
 専務取締役 斎藤浩  
 常務取締役 味澤幸義  
 取締役 薄田幸秋  
 取締役 竹内正幸  
 取締役 柳澤圭一郎  
 取締役 降旗征一郎  
 取締役 熊澤立夫  
 取締役 足立寿喜夫  
 取締役 赤富輝夫  
 取締役 矢澤花雄  
 取締役 久保田哲信  
 監査役 北澤長肇  
 監査役 小池

### HPのご案内

平成18年4月1日にリニューアルいたしました。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

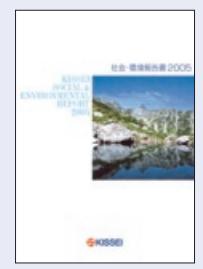
### アニュアルレポート

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



### 社会・環境報告書

環境への取り組みを「社会・環境報告書」としてまとめています。



資料請求のご連絡先：広報部 TEL：0263-25-9523 (土日祝日、当社休日を除く月～金 8:40～17:20)